和歌山県産品首都圏販路開拓コーディネート事業募集要項

市場形態、消費サイクルの移り変わりが激しい中、自社製品を新たな市場に展開し、事業として成功させることは容易なことではありません。また、女性の社会進出や高齢化社会の到来等社会状況の変化に対応した新たな成長市場での競争が激化しつつあります。

本事業では、大消費地で情報発信の拠点である首都圏の市場に対象を絞り、激しい企業間競争に勝つ抜くために、幅広い知識とネットワークをもつ第一線の専門家たちが各商品に応じた具体的な助言･支援を行うことにより､各企業の抱える問題点を解決するお手伝いをいたします。

こんな悩みを解決するお手伝いをします。

- ･製品は完成したが、適切な販路が見つからない。
- ･新しい販路を開拓したい。
- ･品質には自信があるが売り上げが伸びない。
- ･他社製品との差別化を図りたい。
- ･コスト削減をはかりながら効率的な営業活動がしたい。

1　目　　的

大消費地で情報発信の中心である首都圏に照準を合わせた県産品の新規販路開拓支援

2　事業内容

本事業では、首都圏での販路の拡大を目指す企業を対象に、大手流通業者等首都圏における流通の第一線の専門家で構成された支援委員会において首都圏の販路拡大についての個別相談を行う。

そこで、各企業の抱える諸問題や商品の持つ力を分析、今後首都圏で販路を拡大するため、各商品にあった実践的アドバイスを行い、それを具体化できるよう委員のネットワークを駆使して適切な流通販路の引き合わせを行うなど具体的な支援を行う。

＜スケジュール＞

9月	参加者募集
	参加者決定
10月	第1回相談会（和歌山）
	＊セミナー（タイトル未定）も同時に開催予定
11月～12月	第2回相談会（東京）
	＊可能であれば首都圏流通見学会も行う予定
1月～2月	第3回相談会（東京）
	＊可能であれば展示発表会も行う予定
	＊相談会以外についてはあくまで現段階での予定です。今後参加者が決定した後業種等検討した上で予定を変更することがあります。

3　対象企業　県内に本社をおく製造業を営む中小企業者

4　対象製品　一般消費財

5　支援委員会構成メンバー（プロフィールは別添の通り）

後藤　芳一	中小企業診断士（商業）
田後　勝三	（株）プロモーション・コンサルティングファーム代表取締役
羽田　和彦	流通コーディネータ
斎木　勝利	生活協同組合コープこうべ福祉環境活動部統括課長

＊相談会には委員の他にアドバイザーとして流通バイヤー（百貨店、コンビニ等）が同席する予定。（東京での相談会の内いずれか）

6　コーディネータ

竹川　智子　　アジア太平洋トレードセンター（株）
ATCエイジレスセンター企画プロデューサー兼事務局次長

＊参加者と委員との連絡調整等橋渡しを行います。

7　募集業者数　　10社程度

＊お申込み多数の場合、また、同業種が複数の場合は、提出していただく応募シートを基に委員会において独創性、成長性等を勘案し検討の上決定させていただきます。

8　参 加 費　　1社あたり10,000円（事業実施期間中の相談料）

＊首都圏流通見学会、展示発表会については別途参加者負担金が必要な場合があります。

9　応募締切　　平成12年9月20日（水）

10　注意事項

（1）本事業は参加企業の自主的な取り組みを個別相談などを通して側面的に支援するものです。

（2）委員が紹介した企業との取引等本事業に関係して行う経営判断と事業の結果については参加者の責任において行って下さい。もし、トラブルが生じても本協会では責任を持ちかねますのでご了承願います。

（3）本事業に参加するために必要な旅費は参加者負担です。

（4）今回の委員ではどうしても対応できない分野の場合は、参加を辞退していただくことがあります。

（5）本事業参加に伴う一連の業務については、事務局の指示を必ず遵守して行って下さい。遵守できない場合は、今回の参加を取り消すとともに、今後の協会活動への参加を禁止することとしますのでご了承願います。

11　お問い合わせ

和歌山県物産振興協会事務局　担当　杉本
〒640-8585　和歌山市小松原通1－1　県庁商工振興課内
TEL 073(441)2744　FAX 073(422)1529

＊本事業は和歌山県から「平成12年度きのくに産品市場開拓支援事業補助金」の交付を受けて実施しております。

＜委員プロフィール＞

後 藤 芳 一

＜現　職＞
中小企業診断士（商業）
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）企画部長代理
日本福祉大学兼任講師（「バリアフリー社会と新産業創出」担当）

＜経　歴＞
1955年　大阪府吹田市出身
1980年　東京工業大学大学院（機械工学専攻）修了、通産省入省
1995年　通産省機械情報産業局医療・福祉機器産業室長
1998年　通産省環境立地局環境指導室長
1999年より現職
中小企業施策全体に詳しく、また流通関係者にも幅広いネットワークをもつ。

田 後 勝 三

〈現　職〉
(株)プロモーション・コンサルティングファーム代表取締役

〈経　歴〉
1942年　岡山県津山市出身
1968年　京都大学文学部卒業後朝日新聞社入社
広告部長、広告開発部長を通じて流通、不動産、家電、食品業界などの広告・販売促進・マーケティング活動に携わる。ATCエイジレスセンターの設立、「坂本龍一オペラ1999」の総合プロデューサーなど各種イベントや新規事業をプロデュース。
2000年　朝日新聞社を退社し現職。
販売促進に特化したシンクタンクとして企業からの相談に応じている。

羽 田 和 彦

〈現　職〉
流通コーディネータ

〈経　歴〉
1954年　東京都出身
1983年　(株) 東急ハンズ入社
渋谷、江坂、池袋の各店において仕入れ販売を担当。また、ハンズオリジナル商品の開発や池袋店共用品コーナーの企画・開設、ATCエイジレスセンター主催「共用品が開く未来展」の企画などにも携わった。
(協力：大阪・心斎橋店)
2000年　(株) 東急ハンズを退社
(株) 東急ハンズ時代に培った幅広いネットワークを活用し、流通コーディネータとして活躍中。

斎 木 勝 利

〈現　職〉
生活協同組合コープこうべ福祉環境活動部統括部長

〈経　歴〉
1960年　コープこうべ入所
住居関連商品担当
住居関連商品部統括課長
コープ店店長
地域統括部長
リビング部長を経て現職
東京にある日本生活協同組合連合会とも太いパイプを持ち、首都圏の流通にも詳しく幅広いネットワークをもつ。

応　募　シ　ー　ト

下記の項目についてご記入下さい。

1　企業概要

（1）企業名　　担当者名

（2）所在地

（3）TEL　　FAX

（4）事業内容

（5）創業年月　　年　　月

（6）従業員数　　人

（7）売上高（年間）　　百万円

2　今回対象となる商品の概要（様式内に記入しづらい場合は、パンフレットなどを代わりに添付していただいても結構です。）

（1）商品名（由来も含めて）

（2）発売時期　　年　　月

（3）これまでの販売数

（4）対象とする購入者

（5）この商品の特徴、従来商品と比べた新規性等アピール点

（6）現在の販売方法・販売経路等

（首都圏への販売経路）

3　今回相談したいこと、現在抱えている悩み、これまでの首都圏での成果、本事業に対する意気込み、要望等ご自由にご記入下さい。

＊その他会社パンフレット、新聞報道、販促チラシ、広告製作物、取扱説明書等商品そのものや取り組みの様子についての理解を助けるものがあれば添付して下さい。
（採否にかかわらずお戻し出来ませんのでご了承下さい。）